

地域密着型金融推進計画の取組みについて
(平成21年度)

石巻商工信用組合

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況のお知らせ

当組合では、平成19年9月、地域経済活性化への貢献、事業再生・中小企業金融の円滑化、地域の利用者の利便性向上、地域金融機関としての経営力強化等を織りこんだ「第3次地域密着型金融推進計画」を策定し、積極的に取り組んでいるところでございます。

つきましては、平成21年度までの進捗状況を公表させていただきます。

平成 22 年 5 月

石 巻 商 工 信 用 組 合

地域密着型金融推進計画の進捗状況（要約）

1. 平成19年4月～平成22年3月までの全体的な進捗状況

当組合では、平成19年9月に策定した、「第3次地域密着型金融推進計画」につきまして、既に組合員・取引先皆様方に計画の内容を開示させて頂き、その進捗状況を半期毎に公表することと致しておりましたが、平成19年4月～平成22年3月までの実施内容は下記の通りとなっておりますのでお知らせ致します。

「第3次地域密着型金融推進計画」は、事業再生支援強化、中小企業金融の円滑化、地域経済への貢献、利用者の利便性の向上並びに当組合経営力の強化に向けた取組みについて、お客様や地域の皆様のご要望にお応えすべく、「選択と集中」により、協同組織金融機関として相互扶助・非営利といった特性を生かし、皆様の経営安定に貢献する為に積極的に取組む方針であり、現在実施スケジュールに基づき着実に実践しているところでございます。

平成22年3月までの進捗状況につきましてその内容を要約しますと、平成19年度上期は① 推進計画の趣旨を全役職員へ周知徹底、② 組合員・取引先皆様への公表、③ 個別項目の計画推進の為の事前調査等、態勢整備を行いました。又、平成19年度下期から平成22年度につきましては、個別項目毎の実施スケジュールに基づき、特に具体的実施策の末尾に★印の項目を中心に活動に着手しており、実効性のある取組みとなっているものと確信しているところでございます。

尚、各項目の進捗状況につきましては、平成21年度中に取組みをしました点を中心に掲載させて頂きます。尚、平成22年度以降の取組みにつきましては、現在、計画を作成中であり、平成22年7月中に公表する予定となっております。

2. 地域密着型金融推進計画に基づく個別取組みの進捗状況

項 目	内 容	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1)経営改善支援		
① 事業所取引先経営改善支援活動の取組み ★	取組み方針 及び目標	・事業所取引先再生支援活動を見直し、対象先の選定及び財務内容に応じた具体的な経営改善計画書等を活用すると共に、新たにSKCセンターの中小企業再生支援システムの導入を検討、本部・営業店一体となった相談・支援機能を強化し、取引先の経営改善に努めます。
	具体的取組策	・(財)みやぎ産業振興機構及び経済産業省委託事業「地域力連携拠点事業」等外部機関の相談・支援機能を積極的に活用し支援策と致します。 ・事業所取引先再生支援先へは本部、営業店が一体となった改善指導を実施し、継続的な訪問活動により再生支援に取組みます。
	スケジュール	19年度～21年度 ・事業所取引先再生支援活動見直しを検討、対象先の選定及び活用資料等の再整備。 ・SKCセンターの中小企業再生支援システム導入検討。 ・(財)みやぎ産業振興機構の無料相談会の活用促進。 ・しんくみ「あのねツビズの経営相談提案書」活用の周知徹底。
	進捗状況	・事業所取引先再生支援先について、各営業店と協議し平成21年度は47先を指定させて頂き、中小企業再生支援システムにより、「企業診断書」を作成し財務分析による経営改善支援活動を展開し取組みした結果、平成21年度に債務者区分の良化先1先ございました。 ・平成20年度より経済産業省が新事業として開始した「地域力連携拠点事業」の再委託先として、中小企業の皆さまが抱える様々な経営課題に対する支援活動を実施させて頂き、経営相談受付延べ件数261件、専門家派遣延べ件数127件の取組み実績を上げることが出来ました。

項 目	内 容		容	
(2)創業・新事業支援				
① 公的制度やネットワークを活用した情報提供・相談機能の強化 ★	取組み方針 及び目標	・(財)みやぎ産業振興機構・商工会議所、商工会、市・町等の創業支援機能を活用した情報提供を行うとともに、同団体協調による企業支援等のネットワークを積極的に活用する方針です。又、当組合独自の商品開発及び信用保証協会等の制度融資の継続活用を行う計画です。		
	具体的取組策	・(財)みやぎ産業振興機構・商工会議所、商工会、市・町等の創業支援機能(窓口相談機能、専門家派遣機能、債務保証・融資事業、各種助成事業、研修事業、ビジネスマッチング他)を、創業・新事業予定企業へ紹介するとともに当組合のお客様へ積極的に対応致します。		
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	・当組合独自の創業・新事業関連融資商品新設検討。・創業、新事業案件の相談機能強化の為、職員を研修へ派遣し人材育成に努める。 ・信用保証協会の創業関連保証制度の周知徹底。・(財)みやぎ産業振興機構・商工会議所、商工会、市・町等の機能のPR活動を実施する。	
	進捗状況	・平成21年4月より(財)みやぎ産業振興機構主催「起業家育成講座」開講について各営業店を通じPR活動を継続実施しております。 ・平成21年度中小企業庁発行の「中小企業支援策」並びに「中小企業新事業活動促進法」に関する小冊子を各営業店へ配布し、お取引先へ支援活動の促進を図りました。 ・独)中小企業基盤整備機構の「創業・ベンチャーフォーラム」・「アグリビジネス経営者養成講座」等について参加者募集のPR促進を図りました。 ・宮城県経済商工観光部新産業振興課の「経営革新計画」承認制度について、営業店に送付しお取引先への経営革新支援の促進を図りました。		
(3)事業承継支援				
① 財務書類の作成及び後継者育成に係る相談ニーズの対応 ★	取組み方針 及び目標	・税理士等のアドバイスを活用した情報提供等や、(財)みやぎ産業振興機構・商工会議所・商工会のネットワークを積極的に活用する方針です。 ・取引先企業が組織した各種団体への参画及び中小企業基盤整備機構との連携によるセミナーの開催により後継者問題に取り組んでまいります。		
	具体的取組策	・各団体(商工会議所、各中小企業組織等)が主催・後援する研修・講習会等へ参画するとともに、積極的に支援してまいります。 ・取引先企業の抱える課題およびニーズにマッチした講演会・経営セミナーを開催致します。		
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	・各種団体が主催する研修会・勉強会等へ参画・後援の実施。・中小企業基盤整備機構との連携により、若手経営者の為のセミナー開催。 ・公的機関((財)みやぎ産業振興機構・商工会議所)ネットワークの活用検討。・青年会議所・商工会議所青年部等への働きかけの実施。	
	進捗状況	・当組合の紹介によりお取引先企業と(財)みやぎ産業振興機構との相談が1件成立し、現在事業継承後のフォロー支援を実施しております。 ・地域力連携拠点事業の一環として、平成21年10月・11月若手経営者の皆さまの育成を含めた「経営力向上セミナー及び個別相談会」並びに平成22年2月「事業承継セミナー及び個別相談会」を2回開催し、後継者育成、事業承継の情報提供事業を展開させて頂きました。 ・平成21年8月東北財務局主催「経営承継円滑化に係る説明会」に本部課長1名を派遣すると共に、平成22年1月独)中小企業基盤整備機構主催の「事業承継施策説明会」に担当課2名を派遣し、お客さまからの相談への対応策と致しました。		
(4)事業再生支援				
① 商工会議所、商工会、中小企業再生支援協議会等、他機関との連携	取組み方針 及び目標	・中小企業再生支援協議会等の機能活用については、事案が発生次第、取引先と相談しながら、同協議会への持込みについて検討致します。 ・商工会議所・商工会が実施している人材紹介事業等を活用した専門家の派遣指導を積極的に活用してまいります。		
	具体的取組策	・中小企業再生支援協議会からの協力要請に対応するとともに、協調支援可能先に対しては積極的に取り組んでまいります。 ・事業所支援課が主体となり、対象企業の選択を行い、商工会議所・商工会が実施している人材紹介事業の活用を積極的に行ってまいります。		

項 目		内 容	
① 商工会議所、商工会、中小企業再生支援協議会等、他機関との連携	スケジュール	19年度 ～ 21年度	・事業所支援課、審査課、管理課との連携による、中小企業再生支援協議会への持込み先の検討。 ・商工会議所・商工会を通じた専門家の派遣による経営者意識改革の促進並びに再生計画についての協議指導の実施。
	進捗状況		・平成21年度に中小企業再生支援協議会再生事案を1社受理し、本部関連課が連携の上、同協議会に出席、再生計画支援内容の確認を行い現在、再生支援活動に向け取組み中です。 ・平成21年7月東北経済産業省主催「改正産活法及び株式会社企業再生支援機構」に関する説明会へ参加、又、平成21年11月独)中小企業基盤整備機構主催「中小企業再生支援地区別検討会」に担当課2名を派遣、さらには、平成22年3月全国信用組合中央協会主催「株式会社企業再生支援機構による業務等説明会」に融資担当役員を派遣し、お取引先の支援対応策と致しております。

2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 事業価値を見極める融資

① 目利き能力の向上、人材育成 ★	取組み方針及び目標		・全国信用組合中央協会、宮城県信用組合協会及び中小企業大学校仙台校主催の研修講座へ職員を派遣し、スキル向上に努めてまいります。又、(財)みやぎ産業振興機構等の経営指導をお客様と共に受け、その内容について研究、検討しながら、スキル向上策と致します。
	具体的取組策		・宮城県信用組合主催の「目利きと勘所」、中小企業大学校「リレバン時代の目利き能力強化」講座へ職員を派遣し、スキルアップに努めます。 ・(財)みやぎ産業振興機構等の公的支援制度の活用について検討しお客様へ提案できる態勢の確立に努めてまいります。
	スケジュール	19年度 ～ 21年度	・全国信用組合中央協会、宮城県信用組合協会及び中小企業大学校仙台校主催の講座へ職員を派遣。 ・外部講師による研修の実施。 ・(財)みやぎ産業振興機構等公的支援制度の提案内容に基づく研究会・勉強会の実施。
	進捗状況		・平成21年6月に宮城県信用組合協会主催「中小企業業種別目利き講座」に融資担当者及び渉外担当者9名を派遣、又、平成21年11月に中小企業大学校の「中小製造業経営の目利きのポイント」講座に融資部副部長及び営業店長2名を派遣し、スキルアップの向上策と致しました。 ・平成21年7月(財)みやぎ産業振興機構主催「事業再構築セミナーⅠ」に営業店長4名、営業課長1名、本部担当課長1名を派遣し、「新しい事業再生スキームを活用した企業再生」の事例について学び、お取引先への公的支援制度の提案支援活動対応策と致しました。
② 不動産担保・保証に過度に依存しない融資の積極的取組み ★	取組み方針及び目標		・現在の無担保ローンの取組みを強化するとともに、経営実績、経営者の経営資質を重視した融資の取組みを継続して行ってまいります。又、現在の信用格付制度を基に、ローンレビューを継続実施し、取引先のモニタリングを行っていく方針です。
	具体的取組策		・無担保・無保証ローンの取組みについては「融資推進プロジェクト会議」等で各営業店の進捗状況を確認し、取組みの強化を図ってまいります。 ・当組合の業績評価項目に無担保商品「パートナー」の実績をカウントして反映させ、取組みの強化策として行く方針です。
	スケジュール	19年度 ～ 21年度	・無担保、無保証ローンの取組み強化 ・経営実績・経営者の経営資質を重視した融資の取組み ・信用格付制度の財務分析資料のデータ蓄積と活用の検討
	進捗状況		・平成21年度「パートナー」及び「リレーション」等の取組み実績は37件4.82億円となっております。又、金融円滑化に向けた融資相談として「原材料価格高騰対応等緊急保証制度」を重点的に推進した結果、平成21年度は311先47.4億円の融資取組み実績となっております。 ・平成21年4月より取引先の資金繰りの安定に寄与すべく「緊急経済対策融資」を発売し、43件4.6億円の取組み実績となっております。 上記の取組みにおいて、お客様から地域中小企業への融資取組み姿勢に対し、信認を頂いたものと確信しております。

項 目	内 容	
③ 動産・債権譲渡担保融資の適正な活用	取組み方針 及び目標	・宮城県信用保証協会付の流動資産担保融資保証制度を積極的に取組むと共に、各営業店に対し、当組合お取引先の財務分析から、正常運転資金を見極めた対応を強化し、案件毎の取組みを実施する方針であります。
	具体的取組策	・宮城県信用保証協会付の流動資産担保融資保証制度の内容について営業店へ周知徹底しお客様へのPRを強化致します。 ・審査課で、案件時の資金使途に対する正常運転資金を分析し、特に短期運転資金等の取組みについて営業店への指導を強化致します。
	スケジュール	19年度～21年度 ・流動資産担保融資保証制度について宮城県信用保証協会の説明会、研修会に職員派遣。・融資推進プロジェクト会議等で取組み指導。 ・審査課による融資審査等の継続的な研修を実施し、財務内容から資金使途に応じた分析力向上の為の指導徹底。
	進捗状況	・平成21年7月営業店の融資、渉外担当者役席28名参加の下、宮城県信用保証協会との勉強会を通じ、流動資産担保融資保証制度について学び、同制度の取組み強化を徹底してまいりたいと考えております。 ・お客様の財務内容分析により、正常運転資金を見極めた対応を強化し、中小企業の皆さまへの円滑な資金提供に心がけております。
(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底		
① 個人・小規模事業者への資金ニーズに対する きめ細やかな対応 ★	取組み方針 及び目標	・お客様個々の案件に対してITを活用した相談機能を充実すると共に、当組合独自商品の開発によりきめ細やかな対応を行って行く方針です。又、層別管理態勢のレベルアップにより、お客様のニーズに対応した営業推進態勢を確立してまいります。
	具体的取組策	・コンサルティング機能の強化の為、信用格付システムの財務検討表、全国信用組合中央協会「あのねツビズ」、会計ソフト2006等ご提案書の内容の充実を図ると共に、層別管理の充実並びに当組合各種融資商品の見直し及び新商品開発等により資金ニーズに対応してまいります。
	スケジュール	19年度～21年度 ・層別管理態勢の強化推進 ・当組合融資商品の見直し整備及び新商品の開発検討。 ・信用格付システムの財務検討表活用検討。・しんくみ「あのねツビズ」活用検討。・中小企業基盤整備機構の会計ソフト2006の活用検討。
	進捗状況	・SKCセンターとの提携により「中小企業再生支援システム」「あのねツビズ」等を活用したコンサルティング営業を展開しております。 ・平成20年3月小規模事業者向けビジネスローン「パートナーズ」を発売し、お取引先へのきめ細かい対応の強化策としております。 ・平成21年7月と11月の長期職場離脱研修において「あのねツビズ」の活用方法を検討しお客様への提案力のスキルアップを図りました。
② 県、市制度融資の活用・商工会議所、 商工会・政府系金融機関との連携	取組み方針 及び目標	・小規模事業者の皆様の資金ニーズに幅広くお応えする為に、宮城県信用保証協会の保証制度等を積極的に活用してまいります。 ・公的金融機関との協調融資及び商工会議所・商工会との業務提携による会員向け融資等を積極的に推進してまいります。
	具体的取組策	・宮城県信用保証協会の県・市・フラッシュ保証等制度融資を活用し、提案・相談支援を実施してまいります。 ・国民生活金融公庫・中小企業金融公庫との協調融資並びに商工会議所・商工会会員向けメンバーズローンの取組みを実施してまいります。
	スケジュール	19年度～21年度 ・審査課主催の宮城県信用保証協会研修会の実施。 ・国民生活金融公庫・中小企業金融公庫との協調融資について、関係機関との連携強化及び融資取組み策の協議実施。
	進捗状況	・「営業店長グループ別協議会」を通じ、日本政策金融公庫との協調融資について積極推進を行うよう指導しております。 ・日本政策金融公庫との協調融資の取組み実績として、平成21年度において7件54百万円の実績がございました。 ・平成21年7月長期職場離脱研修において、県、市、緊急保証制度等の宮城県信用保証協会制度融資の活用について周知を図りました。

項 目	内 容	
3. 地域情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1) 地域の面的再生		
① 地方公共団体、経済団体等との連携	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・行政当局からの要請及び商工会議所・商工会との連携による将来ビジョンの策定に積極的に参加してまいります。 ・地域活性化に向けた商工団体、第3セクター機関の取組みには積極的に協力支援してまいります。
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体が企画する街づくり委員会及び商工会議所、商工会等で推進している協議会へ積極的に参加し地域ビジョン造りに貢献致します。 ・全信組連、全信中協等中央機関より他地域での地域活性化情報提供を当地域へ発信し、街づくりに貢献してまいります。
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度 <ul style="list-style-type: none"> ・中央機関より地域活性化に伴う全国的ノウハウの情報提供による地域への発信。 ・各協議会への積極参加。 ・宮城の将来ビジョン、石巻市中心市街地活性化等への参画。 ・地域活性化に向けた商工団体、第3セクター機関からの要請検討。
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「石巻市中心市街地活性化協議会」「石巻・酒田間地域連携促進協議会」に委員を派遣し、地域のビジョン作りに積極的に参画しております。 ・石巻産学官交流会、地公体等より参加要請があった説明会、講演会に積極的に参加し、ビジョン策定の為の協力体制を整えております。 ・東北財務局主催「東北地域のクロスボーダー型ビジネス育成のための金融のあり方研究会」並びに「地域密着型金融に関するシンポジウム」に担当役員が参加し、事例研究を通じ地域活性化の参考教材として、発信できる態勢を構築中でございます。
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供		
① 多重債務者問題解決への役割の発揮	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「しんくみふれあい相談コーナー」の機能を活用し、個別相談による支援策として司法書士・弁護士等専門家への紹介等を実施してまいります。 又、渉外活動を通じた相談業務の対応を徹底し、アドバイス及び「おまとめローン」等融資商品のPRを実施してまいります。
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> ・多重債務者に落ち入らない様、目的ローン相談時の対応を徹底致します。又、返済過重のお客様に対し、おまとめローンを推進致します。 ・「しんくみふれあい相談コーナー」の機能を活用し、個別相談による支援として司法書士・弁護士等専門家への紹介等を実施してまいります。
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度 <ul style="list-style-type: none"> ・各店へ再度「しんくみふれあい相談コーナー」の機能活用について周知する。 ・取引先司法書士、弁護士との連携強化。 ・目的ローンの推進PR活動実施。 ・おまとめローン取組み推進。
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・しんくみフリーローン「ライフアップⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を発売し、相談業務後のアドバイスを通じ、多重債務防止に役立つ推進活動を実施しております。 ・平成22年12月より登米市と連携し多重債務者を支援する「登米安心サポートローン」を発売し、登米地区2店舗で取扱いを実施しております。 ・東北財務局の専門相談員による多重債務者相談業務に関し、営業店に「多重債務相談窓口」のリーフレットを送付しPR活動を実施しております。
② コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・ 融資の取組み	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ビジネスは地域の人的資源を生かすという観点、又、創業融資関連の位置づけとしても、相談・支援機能を強化していく方針です。 ・NPOについては、県・商工会議所等への創業支援相談対応を活用すると共に、国民生活金融公庫等との協調融資に取組む方針です。
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ビジネスの支援策として、当組合独自の商品を開発検討してまいります。 ・当組合内でのNPO対応の検討及び県・商工会議所等の相談機能の活用、国民生活金融公庫等への紹介並びに協調融資に取組む方針です。
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ビジネス向け新商品の検討。 ・県・商工会議所の支援活動の研究及び顧客相談・指導の実施。 ・コミュニティ・ビジネス及びNPOに対する事業目的、資金需要、設立形態内容、活動計画、財務内容等の研究実施。
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ビジネス及びNPOの事業目的、資金需要、活動内容、設立形態等を研究しどのような支援が出来るか、現在検討中であります。 又、日本政策金融公庫との協調融資の検討並びに当組合独自の融資新商品の開発等につきましても検討してまいります。

項 目		内 容	
② コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・融資の取組み	進捗状況	・「地域力連携拠点事業」として、コミュニティ・ビジネス及びNPO等への相談対応並びに他地域で展開しているコミュニティ・ビジネス等への支援等事例研究を踏まえ、対応策を検討中であります。	
	取組み方針及び目標	・防犯パトロール活動を展開し、地域住民が安心して暮らせる町づくりの支援と「しんくみピーターパンカード」の取扱を通じた子供会育成会連合会等の活動の支援を継続実施してまいります。尚、「緑のある街づくり推進運動」の植樹寄贈事業等を踏まえ、地域還元事業を実施して行きます。	
	具体的取組策	・緊急避難場所として営業店をこども110番連絡所とすると共に、バイクに防犯ステッカーを貼付し、防犯パトロール活動を実施致してまいります。 ・「しんくみピーターパンカード」利用代金の一定割合を各地区の子供会育成会連合会等に寄贈して活動を支援してまいります。	
	スケジュール	19年度～21年度	・所轄警察署の定期的な会議等への参加。 ・「しんくみピーターパンカード」の取扱いを通じて子供会育成会連合会等への継続支援。 ・継続した地域社会の貢献事業の検討及び実施。
進捗状況	<p>・平成21年9月及び平成22年3月に石巻市・東松島市子供会育成会、石巻管内特別支援学級後援団体連絡協議会宛「しんくみピーターパンカード」に係る寄付金に当組合の義援金を加え、支援活動を継続実施させて頂きました。</p> <p>・平成21年7月、役職員のボランティアチーム71名参加により、石巻市中瀬公園のバラ園(20年3月当組合が植栽寄贈)の除草作業、追肥作業、剪定作業及び同公園内のガーデンフェンスの塗装作業、清掃作業の実施により美化活動をさせて頂きました。(平成21年度実施回数10回)</p> <p>・「緑のある街づくり推進運動」の一環として、登米市豊里町複合施設開所に当り「シダレ桜5本・キリシマツツジ300本」を寄贈させて頂きました。</p> <p>・営業活動用のバイクに防犯ステッカーを添付し、渉外活動を通じた防犯パトロール活動の展開並びに各営業店を地域の子どもの緊急避難場所として提供させて頂き、地域と一体となった取組みを展開しております。</p>		

4. 経営力の強化

(1) リスク管理態勢の充実

① リスク管理態勢の構築及び情報開示の充実	取組み方針及び目標	・内部統制態勢及び統合的リスク管理態勢の構築により、リスク管理態勢の強化を図ると共に、ディスクロージャー誌等の情報開示内容の充実を図ってまいります。	
	具体的取組策	・信用リスク、市場リスク、金利リスク、オペレーショナルリスク等の各リスク所管部署において、計測・分析等を行い精度を高めてまいります。 ・各種リスク管理状況について内部監査、監事監査を実施し相互牽制を図ります。又、ディスクロージャー誌等で継続的な公開を実施致します。	
	スケジュール	19年度～21年度	・信用リスク、市場リスク、金利リスク、オペレーショナルリスク等チェック強化及び常務会・理事会への定期報告の実施。 ・内部監査、監事監査の継続実施。 ・ディスクロージャー誌等による情報開示。 ・内部統制システムの構築検討。
	進捗状況	<p>・平成19年度に「統合的リスク管理方針・管理規定・管理マニュアル」を策定、平成20年4月1日より適用し管理態勢の充実を図っております。尚、四半期毎に上記マニュアルに基づき、統合的リスク量を算出しており、平成21年度におきましても平成21年3月末及び6月末、9月末、12月末のリスク量を算出の上、常務会、理事会へ報告し、経営管理を実施しております。</p> <p>・平成21年7月に、各リスク管理態勢を含めた平成21年3月期のディスクロージャー誌を、又、平成21年11月に新BIS規制に関する「自己資本の充実状況」「金利リスク量」を含めた21年度上半期のディスクロージャー誌を発刊致しております。</p>	

項 目	内 容	
② 経営の健全性維持・向上 ★	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> 健全経営の維持と経営の透明性確保の観点から、厳正な自己査定の実施および適正な償却・引当の実施を継続してまいります。 リスク管理債権比率目標 平成20年度 6.7%、平成21年度7%と致します。尚、各年度の目標は、各年度当初に作成するものと致します。
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> 管理課による自己査定実務研修会を実施し一次査定部門の正確性の向上を図ると共に、二次査定部門による十分な検証を実施致します。 自己査定、償却・引当について、内部監査、常勤監事検証、外部監査法人の受監を通じ、精度の向上を図ってまいります。
	スケジュール	19年度～21年度 <ul style="list-style-type: none"> 検査課・常勤監事による自己査定、償却・引当金の検証実施。 ・外部監査法人による自己査定レビューの実施。 店長並びに自己査定担当役席者に対する自己査定実務研修会、説明会の実施。
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年3月期の自己査定、償却・引当について、外部監査法人の受監、内部監査、常勤監事の検証を実施し、妥当性を確認しております。 平成22年3月期のリスク管理債権比率は、地域経済の低迷よりお取引先の業績が悪化し、目標7%に対し実績7.07%と前期末比▲0.33%の改善となったもの目標未達となっております。尚、自己査定の通年実施により査定能力の向上並びに厳正な対応に努めてまいります。 平成22年3月新日本有限責任監査法人の自己査定レビューを4日間受監し、自己査定の適切性について検証して頂きました。
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の為の取組み		
① 管理会計の整備及びこれを活用した業績評価の結果に基づく業務の再構築	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ALMシステムにより資金収支等の分析力向上を図ってまいります。 営業店別独立採算制による収益目標管理を再構築し、業績評価制度へ収益目標管理を組み入れる検討を致します。
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> 総合予算管理制度については継続実施するものとし、さらにALMの活用により分析力向上と精度を高めてまいります。 営業店別独立採算制に基づく収益管理については、一部見直しの上、業績評価に組み入れる検討を実施してまいります。
	スケジュール	19年度～21年度 <ul style="list-style-type: none"> 営業店別独立採算制度の見直し実施。 ・ALMシステムによる収支計画の分析。 業績評価制度の検討。
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 月次決算を継続的に実施すると共に、独立採算制による四半期毎の各店別修正損益を算出し、総合予算管理の徹底を図っております。 平成21年9月にALMシステムにより、21年度下期収支シミュレーションを、又、平成22年2月及び3月にそれぞれ平成21年度末並びに平成22年度末のシミュレーションを実施し、収益予想を計測しております。 平成21年10月及び平成22年2月、営業店別業績評価制度に目標金利に対する達成度評価を組入れ実施しております。
(3) ガバナンスの強化		
① 経営の透明性の確保及び総代会の機能強化	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年3月期よりバーゼルⅡの新基準に基づいた項目開示を実施し開示内容の充実を図っており、今後も継続実施致します。又、総代会制度の再周知及び総代・組合員との意見交換の機会を増やすことにより当組合経営の透明性の確保に向けた取組みを実施してまいります。
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> 財務内容の充実につきましては、必須開示項目を網羅すると共に、組合独自項目の見直し・追加を検討し、充実度を高めた開示といたします。 総代地区懇談会の開催及び常勤役員によるお客様訪問により、経営情報の説明実施及び要望等の意見を反映する取組みを行ってまいります。
	スケジュール	19年度～21年度 <ul style="list-style-type: none"> バーゼルⅡの新基準に基づいたディスクロージャー誌による3月期の情報開示。 ・ミニディスクロージャー誌による9月期の情報開示。 総代会資料、説明方法の検討。 ・総代会内容の開示。 ・総代、組合員への常勤役員訪問実施。 ・総代地区懇談会の検討及び開催。
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年3月期のディスクロージャー誌に必須開示項目を網羅すると共に、地域密着型金融の取り組み状況等、組合独自の開示項目を追加し充実度を高めた掲載内容と致しました。又、平成21年9月期のミニ・ディスクロージャー誌で半期開示項目により財務内容を公開しております。

項 目		内 容	
①	経営の透明性の確保及び総代会の機能強化	進捗状況	<p>尚、平成21年8月及び11月にホームページに内容を掲載し開示致しております。</p> <p>・平成21年11月総代地区懇談会を6ヶ所で開催致しました。尚、ご意見ご要望に対しましては、平成22年度の経営計画に反映させて頂きました。</p> <p>・平成20年12月に当組合のホームページを開設し、平成21年度においても継続的に種々の経営情報の公開を致しております。</p>
5. 地域利用者の利便性の向上			
(1)地域利用者の満足度を重視した経営の徹底 ★	取組み方針及び目標	<p>・アンケート等により「利用者の満足度調査」並びに総代地区懇談会の開催及び常勤役員による総代、組合員への訪問を実施し要望等の把握により組合経営に意見を反映する仕組みづくりを行ってまいります。又、お客様への説明態勢及び相談・苦情対応の強化を図ってまいります</p>	
	具体的取組策	<p>・年1回のアンケートによる利用者の満足度調査の継続実施とアンケート調査結果分析と対応策の検討、実施を行ってまいります。</p> <p>・常勤役員による総代・組合員への訪問の実施及び総代地区懇談会の開催により、要望等を把握し意見を反映させる取組みを行ってまいります。</p>	
	スケジュール	19年度～21年度	<p>・アンケート調査の実施及び結果分析と対応策の検討。 ・常勤役員による総代・組合員への表敬訪問の実施。</p> <p>・総代地区懇談会の検討、開催実施。 ・顧客サポート態勢の確立。 ・商品説明、親切丁寧な応対等による説明態勢の確立。</p>
	進捗状況	<p>・平成21年5月に本部部門長会議において、平成20年度に実施した「顧客満足度アンケート調査」でのご回答書の分析の上、改善項目及び対応策を検討し、平成21年度の改善計画を作成し、全店で改善に向けた取組みを実施致しました。</p> <p>・平成22年1月に実施した「顧客満足度アンケート調査」でのご回答書の分析を行い、平成22年度の改善計画を立案すると共に、実効性を高める為、平成20年度に立上げたCS委員会で継続取り組み中でございます。</p> <p>・総代地区懇談会にご出席を頂けなかった総代の皆様並びに組合員の皆様に対し、常勤役員が表敬訪問を実施し意見交換をさせて頂きました。</p>	
6. 進捗状況の公表			
(1)年2回進捗状況の公表	取組み方針及び目標	<p>・半期毎の進捗状況を継続公表してまいります。</p>	
	具体的取組策	<p>・進捗状況について店舗備え置きにより内容を公表しております。又一部項目につきましてはディスクロージャー誌等により公表致しております。</p>	
	スケジュール	19年度～21年度	<p>・地域密着型金融推進計画の公表 ・半期毎の進捗状況についての公表</p> <p>・基本的には平成21年度まで継続実施とするが、金融情勢の大幅な変化があれば、取組み項目の変更等について検討する。</p>
	進捗状況	<p>・「地域密着型金融推進計画」の進捗状況につきましては、実施スケジュール通り、店舗備え置き並びにホームページにより半期毎に公表すると共に、一部の項目につきましては、各年度のディスクロージャー誌に掲載し開示致しており、今回、平成21年度分の公表となりました。</p>	

※今回の取組み項目につきましては、いずれも大切な課題ですが、当組合として特に項目の末尾に★印のついてある9項目を最優先課題として取組む方針です。

石 巻 商 工 信 用 組 合